

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第1試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	33	—	15	得点	チーム名
	福岡大大濠	133	34	—	23	64	宮崎工業
			41	—	16		
			25	—	10		

チーム名						
福岡大大濠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 凱文	0	0	0	0	0
5	仙波 颯人	2	0	1	0	0
6	中村 太地	4	0	2	0	2
7	桐山 慶太	4	0	2	0	1
8	青木 亮	25	0	10	5	3
9	増田 啓介	25	0	10	5	2
10	山内 康平	15	1	6	0	1
11	鍵富 太雅	20	0	10	0	0
12	立野 友也	9	1	3	0	2
13	渡嘉敷 直輝	9	0	4	1	2
14	児玉 修	0	0	0	0	3
15	堀川 裕作	13	0	6	1	0
16	山本 晃輝	5	1	1	0	1
17	小山 拓希	2	0	1	0	0
18	後藤 裕太郎	0	0	0	0	0
合計		133	3	56	12	17

チーム名						
宮崎工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	原田 大生	12	1	3	3	3
5	中野 敦	0	0	0	0	0
6	甲斐 隆太郎	11	0	4	3	4
7	大島 諒	24	2	7	4	4
8	堀口 晃平	8	2	1	0	3
9	本部 智啓	0	0	0	0	0
10	湯浅 強志郎	0	0	0	0	0
11	山本 直樹	4	0	2	0	3
12	松田 岳	0	0	0	0	3
13	石田 龍之介	5	1	1	0	0
14	中山 拓磨	0	0	0	0	0
15	杉本 宗馬	0	0	0	0	0
16	鈴木 凱	0	0	0	0	0
17	鍋倉 翔太	0	0	0	0	0
18	本田 周平	0	0	0	0	0
合計		64	6	18	10	20

☆戦評

1Q福大大濠はマンツーマン、宮崎工業はゾーンディフェンスでスタート。両チームともなかなかシュートが決まらない中、福大大濠9番増田がフリースロー、ゴール下で得点すると、宮崎工業6番甲斐がレイアップシュートで応戦。リズムに乗れない宮崎工業は6:42でタイムアウトを取る。直後、セットプレーから得点。しかし、福大大濠は8番青木を中心にゴール下で得点を重ねる。宮崎工業も4番原田、8番堀口の3Pで応戦するも33-15で1Q終了。2Q宮崎工業がレイアップで先制し、7番大島が得点を重ねる。福大大濠もドライブ中心に得点し、点の取り合いとなる。41-22となった所で宮崎工業はタイムアウトを取り、直後に連続3Pでリズムに乗る。しかし、福大大濠は残り4分オールコートゾーンディフェンスから11番鍵富の連続得点し譲らない。宮崎工業も気迫溢れるルーズボールから得点するも、67-38で2Qを終了。3Q宮崎工業はディフェンスで前半以上に積極的に仕掛けるも、福大大濠は慌てずゴール下で得点を重ねる。福大大濠は高さを活かしたゾーンディフェンスで堅い守りから速攻で得点する。宮崎工業7番大島がバスケットカウントを決めるも点差が縮まらず3Qを終了。4Q両チームともオールコートディフェンスで仕掛ける。福大大濠はスティールからリズムを掴み、15番堀川がゴール下で連続得点する。宮崎工業も3Pシュートを打っていくがなかなか得点できず、福大大濠がしっかりリバウンドを取っていく。宮崎工業が最後までオールコートで仕掛けるも、福大大濠が落ち着いてゲームを運び133-64で勝利した。

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第1試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	12	—	28	得点	チーム名
	加治木工業	74	17	—	42	119	九州学院
			19	—	30		
			26	—	19		

チーム名						
加治木工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	川ノ上 祐旗	17		8	1	3
5	上野 真志	21	1	9		3
6	北園 光					
7	白濱 隆成					
8	堂脇 大輔					
9	福盛 雄太					
10	金丸 恭平	2		1		1
11	立山 瑠生	2		1		1
12	萩原 聖也	10		5		4
13	家村 仁					
14	河井 竜	12		5	2	4
15	中村 源太	10		4	2	2
16	岩下 昂世					
17	前田 涉					
18	堤 弘信					
合計		74	1	34	5	18

チーム名						
九州学院						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永塘 哲生	9	1	3		3
5	野口 龍太郎	9		3	4	2
6	松本 駿	9	1	3		1
7	西山 泰加	23	3	7		
8	藤田 湊舟	4		2		2
9	前田 翔	1			1	
10	跡部 涼真					
11	古家 凜	21	3	5	2	
12	世良ジェフリー大尊	11	1	3	2	
13	川田 大起	13		5	3	1
14	中村 隆志	12	1	4	1	1
15	高野 雄登	2		1		2
16	古賀 大成	2		1		
17	川嶋 正輝					
18	西嶋 駿輝	2		1		1
合計		119	10	38	13	12

☆戦評

1Q、九州学院ボールでスタート。九州学院はオールコートマンツーマン、加治木工業は3-2ゾーンディフェンスで入る。九州学院は序盤から激しいディフェンスでプレッシャーをかけ、5番野口のゴール下シュートの先制点から、着実に得点を重ねる。加治木工業は4番川ノ上を中心に攻めるが、なかなかリズムに乗れない。28-12で終了。2Q、九州学院の勢いは止まらず、11番古家の3ポイントから始まる。加治木工業も必死にプレーし、プレスディフェンス突破を試みるも、シュートを決めることができない。加治木工業15番中村のバスケットカウントと、5番上野の連続スティールで得点するも、九州学院は淡々とプレーを続け、70-29で終了。3Q、流れは変わらず、出だしから九州学院は7番西山のスリーポイントと、激しいディフェンスなどで得点を重ねる。加治木工業は、プレスディフェンスに対応しつつ、リバウンド・ルーズボールを必死に追いかけて4番川ノ上のドライブに繋げるが、点差を縮められず100-48で終了。4Q、出だしは加治木工業5番上野のスリーポイントで始まり、流れが変わるかと思われたが、九州学院は5人全員交代するなど、プレスディフェンスからの攻撃の手を緩めない。加治木工業は高めのプレッシャーから得点チャンスを生むが、単発に終わり次に繋げることができない。両者とも最後まで諦めないプレーを続けたが、終始、九州学院がリードしたゲームであった。

担当者(村口寿仁)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第2試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	12	—	15	得点	チーム名
	唐津東	53	10	—	8	64	佐世保工業
			12	—	18		
			19	—	23		

チーム名						
唐津東						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	川添 僚太	5	1		2	3
5	岩本 恭生					
6	河野 寛太	2		1		3
7	中島 佑典					
8	松本 雅也					
9	小林 豪	6		3		
10	中山 高彰					
11	費 健航	16		5	6	2
12	宮崎 亮平	23		9	5	4
13	川窪 海聖					
14	梶島 颯斗					
15	深川 陽平					1
16	脇山 敬人					
17	打越 流河	1			1	2
18	辻丸 瑛稀					
合計		53	3	36	14	15

チーム名						
佐世保工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	石田 和希	6		3		2
5	井手 晴友	16	3	3	1	3
6	安永 京平	8		4		1
7	寺岡 瞬一	8		4		5
8	岡本 亮輔					
9	大谷 誉					
10	立花 一真	13		6	1	5
11	山田 敬太	2		1		
12	桑江 一輝	6		2	2	4
13	富川 デイン					
14	松崎 光樹					1
15	福田 礼也					
16	志方 瞭太					
17	石丸 大智	5		1	3	
18	大久保 開斗					
合計		64	9	48	7	21

☆戦評

佐賀県1位唐津東と長崎県2位佐世保工業の対戦。1Q両チームともハーフコートマンツーマンからスタート。唐津東は①費を中心にオフェンスを組み立て6-2とするが、佐世保工業もオールコートマンツーマンに切り替えターンオーバーを誘い15-12で佐世保工業リードで終了。2Q両チームなかなか外からのシュートが決まらず、残り2分28秒佐世保工業⑥安永のドライブが決まり19-18になったところで唐津東タイムアウト。その後両チームフリースローをもらうがなかなか決まらず23-22で佐世保工業がリードして終了。3Q佐世保工業が激しいディフェンスからボールを奪い得点につなげ31-26となったところで唐津東がタイムアウト。また、唐津東①費が負傷し一時ベンチへ。タイムアウト後ゴール下が弱くなった唐津東に対してオフェンスリバウンドに飛び込みリズムを作った佐世保工業が41-34で5点リードで4Qへ。4Q佐世保工業⑤井出がドライブから得点を重ね47-34としたところで唐津東タイムアウト。タイムアウト後①費をコートに戻し攻守の要が戻ってきたことでチームにリズムができ52-44とするが、佐世保工業のオールコートマンツーマンにはまりターンオーバーから失点。64-53で佐世保工業が勝利。両チームとも初戦とあって固さも見れたが、最後までボールを追いかけ試合を諦めない姿勢に両チームに拍手を送りたい。

担当者(吉本 篤史)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第2試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	18	—	21	得点	チーム名
	大分舞鶴	64	15	—	22	90	小祿
			13	—	28		
			18	—	19		

チーム名						
大分舞鶴						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	香川 泰斗	12		6		4
5	スミス 安努隆	19		7	5	1
6	石川 智章					
7	佐藤 星斗					
8	大宅 聡樹	8	2	1		
9	長谷川 聖					
10	吉良 知将	6	2			2
11	木下 碧人	10	2	2		4
12	岑 健太郎					
13	後藤 圭裕	7		3	1	
14	赤嶺 充希	2		1		1
15	大澤 豊					
16	佐藤 淳哉					1
17	野花 耕太					
18	倉原 佑太					
合計		64	18	40	6	13

チーム名						
小祿						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	金城 雄太	5	1	1		
5	森田 幸之助	16	2	4	2	1
6	大城 直也					
7	玉城 修平					
8	儀間 真	9	1	2	2	3
9	古堅 勝利					
10	比嘉 太					
11	名嘉真 尚人					
12	上良 潤起	17		6	5	2
13	大城 勝悟	16	4	2		2
14	松田 悠太郎	6		3		5
15	池田 祐一	21		10	1	3
16	浦添 建伍					
17	金城 光季					
18	川畑 光平					
合計		90	24	56	10	16

☆戦評

第1Q両チームともマンツーマンディフェンスからのスタート。小祿は⑬大城を中心にアウトサイドからの得点を重ねる。対する大分舞鶴は④香川のドライブを中心に攻撃のリズムを掴む。第1Qを18-21で小祿リードで終了。

第2Q小祿⑩池田のシュートイン後、2-2-1のゾーンプレスでスタート。小祿はバスケットからの速攻で確実に得点。大分舞鶴には焦りが見え、開始4分で2得点と苦しい展開。たまたまタイムアウトと取る。その後、大分舞鶴は⑪木下のドライブとミドルシュート、⑩吉良の3Pで小祿に5点差まで詰めた所で、小祿はタイムアウト。タイムアウト後に小祿は⑤森田の3Pにより追従を許さない。33-43と小祿リードで2Q終了。

第3Q両チームはマンツーマンディフェンスに戻りスタート。小祿は⑫上良の確実なリバウンドにより、大分舞鶴に2ndチャンスを与えず、⑫上良と⑤森田を中心に徐々に点差を広げていく。大分舞鶴⑬後藤のバスケットカウントで加点するも、中々リズムに乗り切れない。終始小祿ペースで進んだ第3Qは46-71と小祿がリードを広げて終了。

第4Q開始早々、大分舞鶴は2-2-1のゾーンプレスを仕掛ける。しかし、小祿のスピードが上回り中々流れを掴むことが出来ない。中盤、大分舞鶴⑪木下の3Pと⑤スミスのドライブで加点するが、小祿もリバウンドからの速攻で得点を重ねる。終盤、大分舞鶴⑤スミスの連続得点で追いつくも、最後まで足が止まらなかった小祿が90-64で勝利を収めた。

担当者(力 貴志)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第3試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	30	—	9	得点	チーム名
	長崎西	90	19	—	11	68	日田
			15	—	26		
			26	—	22		

チーム名						
長崎西						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	森山 湧斗	15	0	7	1	3
5	松崎 颯馬	10	1	2	3	4
6	後山 智樹	7	0	3	1	1
7	口石 剛大	19	2	4	5	2
8	池田 健人	10	0	5	0	3
9	埴生 秀人	0	0	0	0	0
10	岡本 龍郎	0	0	0	0	0
11	福島 慧	0	0	0	0	0
12	池田 琳苑	2	0	1	0	0
13	中山 侑樹	14	1	4	3	0
14	宮嶋 大知	7	0	2	3	1
15	高原 芳槻	2	0	1	0	1
16	宮川 雄大	4	0	2	0	1
17	島崎 周三	0	0	0	0	0
18	日野 薫	0	0	0	0	0
合計		90	4	31	16	16

チーム名						
日田						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	梅山 竜太	4	0	2	0	4
5	竹内 将希	12	1	2	5	4
6	松下 尚矢	5	1	1	0	5
7	末金 拓海	2	0	1	0	3
8	河野 仁	0	0	0	0	0
9	佐藤 蓮	2	0	1	0	0
10	足立 丞	2	0	0	2	0
11	梅木 達貴	0	0	0	0	0
12	浦塚 拓道	0	0	0	0	0
13	伊藤 拓海	0	0	0	0	0
14	原田 有人	0	0	0	0	0
15	前田 暁人	20	2	6	2	3
16	森山 翔太	21	0	6	9	4
17	河津 璃久	0	0	0	0	0
18	荒倉 海太	0	0	0	0	0
合計		68	4	19	18	23

☆戦評

第1Q、高身長の⑧池田・⑬中山率いる長崎西がリバウンドを制し、速攻やゴール下シュートで確実に点数を積み重ねた。一方日田唯一のインサイドプレイヤーである⑩森山も粘り強いプレーで対抗するも、長崎西④森山の3連続シュート等で効果的に長崎西が点差を広げて第1Q終了。第2Q、第1Q同様に長崎西のペースで試合は行われた。日田のマンツーマンディフェンスからのスイッチアップに長崎西④森山・⑦口石を中心にした速いボール回しでノーマークシュートを幾度も演出し、得点。日田⑮前田が鋭いドライブインで応戦するも、日田はオフェンスリバウンドを取ることができず、選手交代をした長崎西からなかなか点差を縮めることができないまま第2Q終了。第3Q、立ち上がりから日田⑮前田が連続シュートでチームに流れを呼び込み、堅いディフェンスから速攻へとボールを繋ぎ29点差あった得点差を13点まで縮めた。しかし、残り4分に⑮前田が3つ目のファールでコートアウトすると、長崎西の勢いを取り戻し、⑤松橋のバスケットカウントを皮切りに再び点差を広げて第3Q終了。第4Q、長崎西④森山と日田⑮前田の点数の入れ合いから始まり、どちらのチームも波に乗りきれないまま試合は進む。残り3分に日田⑩森山が4つ目のファールをしてしまうと、長崎西が流れを掴んで最後は選手交代する余裕の展開で、90-68で長崎西が勝利した。

担当者(村山 康德)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第3試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	10	—	15	得点	チーム名
	福岡第一	73	24	—	7	53	延岡学園
			13	—	19		
			26	—	12		

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	武藤 海斗	23	7	1	0	2
5	竹内 大冴	2	0	1	0	1
6	草野 亜怜	2	0	1	0	0
7	張 効広	11	1	4	0	2
8	河野 佑太	10	0	5	0	2
9	野中 貴仁	0	0	0	0	0
10	土居 光	2	0	1	0	0
11	山邊 千春	0	0	0	0	0
12	蔡 錦鈺	12	0	5	2	2
13	重富 友希	5	1	1	0	3
14	重富 周希	6	0	3	0	2
15	長崎 拓海	0	0	0	0	0
16	長野 雄大	0	0	0	0	0
17	三角 敬祐	0	0	0	0	0
18	山口 昌也	0	0	0	0	0
合計		73	9	22	1	14

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	石田 裕太郎	4	0	2	0	1
5	シェツラママドゥ	2	0	1	0	3
6	山田 颯士郎	10	2	2	1	1
7	池浦 健太郎	0	0	0	0	0
8	田上 元己	8	0	4	1	1
9	ナロン 竜平 ショーン	2	0	1	0	3
10	染川 昂	0	0	0	0	0
11	押川 眞輝	0	0	0	0	0
12	五代 雅己	0	0	0	0	0
13	亀田 諒	0	0	0	0	0
14	榎田 拓真	7	0	3	1	2
15	マム シェツハ	16	0	6	4	1
16	濱崎 夏希	0	0	0	0	0
17	渡辺 新	0	0	0	0	0
18	水谷 槇之介	0	0	1	0	2
合計		53	2	20	7	14

☆戦評

第1Q、延岡学園ボールで試合開始。直後に④石田が先制。これに対し福岡第一は、④武藤が3Pを決める。その後延岡学園は⑮マムのインサイドに⑥草野らがアウトサイドで合わせ、得点を重ねる。⑮マムは自らもディフェンスリバウンドからの速攻、⑧田上へのアシストパスなど、攻守で活躍を見せる。一方福岡第一はオフェンスリバウンドに何度も飛び込みチャンスを作るものの、いずれも得点できず10-15で終了。

第2Qは福岡第一④武藤の活躍が光った。残り5分にエンドスローからの3Pを決めると、その後3連続3P、2メンからのレイアップで一気に逆転に成功。延岡学園はたまたまタイムアウトを取るも、勢いを止められない。オフェンスもシュートの精彩を欠く。④武藤は終了間際にも3Pを決め、このQだけで5本の3Pを沈めた。34-22で終了。

第3Q、巻き返しを図る延岡学園は残り6分⑮マムのフリースローを機に、⑭榎田や⑥山田らの連続得点で一気に同点に追いつく。このまま逆転かと思われたが、福岡第一④武藤が3Pで突き放す。最後は⑭重富からのパスに合わせた⑦張が得点し、47-41で終了。

第4Q、出だしから延岡学園は単発なオフェンスが続き、リバウンドを福岡第一に奪われる。この間に福岡第一は⑬重富や⑫蔡らが得点。残り5分、延岡学園は⑮マムの第1Q同様の頑張りでも必死に喰らい付くが、終盤疲労からか脚が止まる。福岡第一は⑬重富の3P、⑧河野らが着実にシュートを決め、最後は⑤竹内がドライブから得点し、73-53で福岡第一が勝利した。

担当者(伊藤 晋秀)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第4試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	21	—	4	得点	チーム名
	川内	78	16	—	20	48	佐賀北
			21	—	14		
			20	—	10		

チーム名						
川内						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	福山 雄大	16	0	7	2	2
5	上迫田 智紀	8	0	3	2	0
6	後藤 一輝	7	0	3	1	0
7	村添 脩保	4	0	2	0	0
8	稲次 裕斗	0	0	0	0	0
9	坂元 達哉	12	0	6	0	0
10	山田 優太	8	0	3	2	0
11	藤野 隆斗	18	0	8	2	1
12	西園 諒	0	0	0	0	0
13	平田 祐希	0	0	0	0	0
14	黒木 慎吾	0	0	0	0	1
15	石原 睦大	0	0	0	0	0
16	杉元 皓太	0	0	0	0	0
17	山下 和樹	3	0	1	1	0
18	慶児 洸太朗	2	0	1	0	0
合計		78	0	34	10	4

チーム名						
佐賀北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	横尾 卓巳	13	2	3	1	3
5	原口 裕章	6	0	3	0	4
6	波田 悠暉	13	1	4	2	1
7	難波 良伍	0	0	0	0	0
8	山口 藍	0	0	0	0	0
9	武藤 寛明	0	0	0	0	0
10	本村 悠貴	2	0	1	0	5
11	江副 浪都	0	0	0	0	0
12	田上 拓樹	0	0	0	0	0
13	小柳 光	0	0	0	0	0
14	片渕 貴裕	10	1	3	1	2
15	松尾 達也	4	0	2	0	3
16	山田 将司	0	0	0	0	0
17	彌永 大樹	0	0	0	0	0
18	山内 出海	0	0	0	0	0
合計		48	4	16	4	18

☆戦評

1Q川内は3-2ゾーンディフェンス、佐賀北はマンツーマンでスタート。川内が先制すると、11番藤野がドライブを中心に得点を重ねる。佐賀北はなかなかシュートが決まらず、8-0となりたまたまタイムアウト。その後、佐賀北がリバウンドから速攻を決めるも、川内の勢いは止まらず21-4で終了。2Qも川内9番坂元のジャンプシュートでリードを広げる。残り6分、佐賀北はディフェンスからリズムをつくり、14番片渕がゴール下、フリースローで連続得点し、4:53川内がタイムアウトをとる。しかし、佐賀北4番横尾が2本の3Pを決め流れを渡さない。佐賀北は要所でジャンプシュートを沈め、37-24と点差を縮め2Q終了。3Qも両チームディフェンスは変わらず、川内4番福山のゴール下、佐賀北6番波田のミドルシュートで始まる。佐賀北はオールコートディフェンスでスティールし流れを引きよせようとするも、川内が落ち着いてゴール下やジャンプシュートで得点を重ねる。50-33になった所で佐賀北タイムアウト。佐賀北が3Pを決めるも、川内はチームファウルで得たフリースローで得点を重ね、58-38で終了。4Q佐賀北がジャンプシュートで先制するが、川内5番上迫田が連続得点をし流れを渡さない。残り2分佐賀北15番松尾も連続得点しする。佐賀北はゲーム終了と同時に得たフリースローを2本とも沈めるが78-48で川内が勝利した。

担当者(川添 武志)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第4試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	16	—	27	得点	チーム名
	東海大星翔	87	17	—	16	73	興南
			25	—	17		
			29	—	13		

チーム名						
東海大星翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中嶋 大地	12		5	2	
5	那須 輝					
6	中村 敬	11	1	4		4
7	趙 漢辰	23		10	3	1
8	元 炫竣	10		4	2	4
9	梅村 和生	15	3	3		2
10	前田 悠介	14		6	2	1
11	藤井 虎南	2			2	
12	工藤 康祐					
13	江川 光					
14	中村 魁斗					
15	林 泰成					
16	下田 一青					
17	高田 賢人					
18	松田 悠					
合計		87	4	32	11	12

チーム名						
興南						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	喜納 昌也	12		3	6	3
5	野原 暉央	15	1	5	2	2
6	島尻 玲央	14	2	3	2	5
7	太田 徳弥	26	1	11	2	2
8	工藤 壘					5
9	名城 正真					
10	金澤 靖治					
11	玉代勢 貫太	6		2	2	1
12	平田 大樹					
13	山川 斗夢					
14	与那 奎太					
15	國吉 正真					
16	伊野波 伸飛					
17	仲嶺 諒					
18	ジョーンズ健太郎					
合計		73	4	24	14	18

☆戦評

1Q、興南ボールで始まり、4番喜納のフリースローで先制。お互いハーフマンツーマンディフェンスで入るが、激しいディフェンスから速攻で興南がリードする。流れがつかめない東海大星翔は、残り5分の13-9の場面でタイムアウト。しかし、流れは変わらず興南6番島尻のスリーポイント、加えて激しいディフェンスでターンオーバーを誘い点差を広げる。東海大星翔は、交代で入った4番中嶋のドライブとゲームコントロール、7番趙のバスケットカウントも出て、少しずつ流れを取り戻し27-16興南リードで終了。2Q、興南5番野原のレイアップでスタートし、興南がリードする展開は変わらない。17点差まで開いたところで東海大星翔タイムアウト。2-3ゾーンディフェンスに変え、東海大星翔9番梅村のスリーポイントで流れをつかむ。興南の速攻が止まり、徐々に点差を縮めるが、43-33興南リードで終了。3Q、両者ハーフマンツーマンディフェンスでスタート。流れは東海大星翔に傾き、9番梅村のスリーポイントをきっかけに、開始2分で一気に1点差まで追いつく。その後、一進一退の攻防が続き、60-58興南リードで終了する。4Q、東海大星翔が逆転に成功し、興南6番島尻のファールアウトでさらに点差を広げる。残り5分、62-71東海大星翔リードで興南タイムアウト。残り2分、興南5番野原のスリーポイントで71-76の5点差まで追いつけるが、東海大星翔タイムアウト。東海大星翔は、7番趙のリバウンド、4番中嶋のゲームコントロールで点差を広げていく。興南は最後まで粘りを見せたが、73-87で東海大星翔が勝利した。

担当者(村口寿仁)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第5試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	20	—	17	得点	チーム名
	福岡大大濠	83	13	—	21	73	九州学院
			21	—	12		
			29	—	23		

チーム名 福岡大大濠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 凱文					
5	仙波 颯人					
6	中村 太地	15	4	1	1	3
7	桐山 慶太					
8	青木 亮	17		8	1	2
9	増田 啓介	25		10	5	1
10	山内 康平	6		2	2	3
11	鍵富 太雅	9		4	1	1
12	立野 友也	2		1		1
13	渡嘉敷 直輝	6		3		4
14	児玉 修					
15	堀川 裕作					
16	山本 晃輝	3	1			
17	小山 拓希					
18	後藤 裕太郎					
合計		83	5	29	10	15

チーム名 九州学院						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永塘 哲生					
5	野口 龍太郎	29		10	5	3
6	松本 駿					2
7	西山 泰加	28	4	7	2	3
8	藤田 溪舟					5
9	前田 翔					
10	跡部 涼真					
11	古家 凜	12	1	4	1	2
12	世良ジェフリー大尊					
13	川田 大起	2		1		2
14	中村 隆志					1
15	高野 雄登	2		1		1
16	古賀 大成					
17	川嶋 正輝					
18	西嶋 駿輝					
合計		73	5	23	8	19

☆戦評

1Q、両チームともハーフコートマンツーマンからスタート。福岡大大濠⑨増田のゴール下、⑬渡嘉敷のオフENSリバウンドで連続得点する。九州学院は⑪古家、⑦西山のシュートで応戦し20-17で福岡大大濠がリード。2Q、九州学院⑤野口のシュートで1点差にすると一進一退の攻防が続く九州学院⑪古家がステールし38-31とし、残り46秒福岡大大濠がタイムアウト。タイムアウト後福岡大大濠⑬渡嘉敷がジャンプシュートを決め38-33で九州学院が5点リードで終了。3Q、九州学院は⑤野口がバックドアから得点し、福岡大大濠は厳しいディフェンスをするがシュートが決まらず苦しい展開が続くが福岡大大濠⑧のゴール下から得点し46-45としたところで九州学院タイムアウト。流れを変えたい九州学院だが2本連続ターンオーバーから失点し福岡大大濠が49-46と逆転。その後フリースローを両チーム入れ54-50で福岡大大濠がリードして3Q終了。4Q、九州学院⑦西山のバックドアで54-52と2点差。九州学院は相手がフロントコートに入ると積極的にダブルチームにいきターンオーバーを誘う。福岡大大濠たまらずタイムアウト。福岡大大濠ディフェンスリバウンドを確実に取りファーストブレイクで得点し、62-56になったところで九州学院タイムアウト。その後お互い点を取り合うが福岡大大濠⑩山内がコーナーから3Pを決め80-71とし万事休す。83-73で福岡大大濠が勝利。両チームともスピード感溢れるゲームで見ごたえのあるゲームであった。

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第5試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	14	—	30	得点	チーム名
	佐世保工業	51	18	—	26	92	小祿
			9	—	16		
			10	—	20		

チーム名						
佐世保工業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	石田 和希	6	1	1	1	
5	井出 春友	24	4	5	2	1
6	安永 京平	2		1		
7	寺岡 瞬一	6		3		
8	岡本 亮輔	6		2	2	
9	大谷 誉					
10	立花 一真					3
11	山田 敬太					1
12	桑江 一輝	7		1	5	4
13	富川 デイン					
14	松崎 光樹					
15	福田 礼也					
16	志方 瞭太					
17	石丸 大智					
18	大久保 開斗					
合計		51	15	26	10	9

チーム名						
小祿						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	金城 雄太	2		1		1
5	森田 幸之助	10		5		
6	大城 直也	3		1	1	
7	玉城 修平					1
8	儀間 真	5	1	1		2
9	古堅 勝利	2		1		
10	比嘉 太	8		4		
11	名嘉真 尚人					
12	上良 潤起	24		12		4
13	大城 勝悟	8	2	1		
14	松田 悠太郎	15		7	1	3
15	池田 祐一	15	1	6		3
16	浦添 建伍					
17	金城 光季					
18	川畑 光平					
合計		92	12	78	2	14

☆戦評

第1Q佐世保工業は2-3ゾーンディフェンス、小祿はオールコートマンツーマンディフェンスからスタート。序盤は小祿が⑤森田と⑭松田を中心に速攻で得点していく。対する佐世保工業は小祿のタイトなディフェンスに苦しみ攻めあぐむ。第1Qは小祿ペースで進み14-30小祿リードで終了。

第2Q開始早々、小祿のスティールが冴えわたり速攻から⑬上良と⑮池田が連続得点を重ねる。佐世保工業も④石田と⑧岡本がドライブを仕掛けるも、小祿のディフェンスを崩すことができない。終盤に④石田と⑤井出の3Pで加点するも流れを掴むことができず、56-32で前半を終える。

第3Q佐世保工業⑫桑江の得点からスタート。しかし、小祿の⑬上良と⑭松田の確実なリバウンドから速攻につなげ徐々に点差を広げる。佐世保工業も⑤井出と⑫桑江が積極的にシュートは打つものの、決めることができず、点差を詰めることができない。終盤に④石田が果敢にドライブに行きファールをもらい、フリースローを決めるが、ここで第3Q終了となる。

第4Q、足が止まらない小祿は速攻を出し続け、一気に点差を広げる。対する佐世保工業も⑤井出の3Pで必死に喰らい付く。しかし、小祿が最後まで速攻を出し続け92-51で小祿が勝利を収めた。最後まで全力プレーを見せてくれた両チームに感謝し、拍手を贈りたい。

担当者(力 貴志)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第6試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	16	—	17	得点	チーム名
	長崎西	59	15	—	21	83	福岡第一
			13	—	20		
			15	—	25		

チーム名						
長崎西						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	森山 湧斗	4	0	2	0	2
5	松崎 颯馬	9	1	2	2	3
6	後山 智樹	18	0	8	2	2
7	口石 剛大	4	0	2	0	1
8	池田 健人	2	0	1	0	5
9	埴生 秀人	0	0	0	0	0
10	岡本 龍郎	0	0	0	0	0
11	福島 慧	0	0	0	0	0
12	池田 琳苑	2	0	1	0	3
13	中山 侑樹	11	2	1	3	0
14	宮嶋 大知	1	0	0	1	1
15	高原 芳槻	0	0	0	0	0
16	宮川 雄大	8	0	4	0	4
17	島崎 周三	0	0	0	0	0
18	日野 薫	0	0	0	0	0
合計		59	3	21	8	21

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	武藤 海斗	15	5	0	0	2
5	竹内 大冴	2	0	1	0	2
6	草野 亜怜	0	0	0	0	2
7	張 効広	6	0	2	2	0
8	河野 佑太	8	0	4	0	3
9	野中 貴仁	2	0	1	0	0
10	土居 光	10	0	5	0	0
11	山邊 千春	0	0	0	0	0
12	蔡 錦鈺	26	0	9	8	4
13	重富 友希	9	0	2	5	0
14	重富 周希	5	0	2	1	3
15	長崎 拓海	0	0	0	0	0
16	長野 雄大	0	0	0	0	0
17	三角 敬祐	0	0	0	0	0
18	山口 昌也	0	0	0	0	0
合計		83	5	26	16	16

☆戦評

第1Q、福岡第一⑭重富の先制シュートで試合が始まり、⑦張・⑧河野の高さを活かしてインサイドにボールを集めた。長崎西は⑧池田を中心にインサイドの守りを固め応戦し、速い攻めからのアウトサイドシュートが効果的に決まりリードを奪うも、残り4分で交代して入ってきた⑫蔡のポストでの2連続シュートで勢いに乗った福岡第一に逆転を許し、第1Q終了。

第2Q、長崎西は福岡第一の高さに対抗するためにポストへのディナイディフェンスやポストマンへのダブルチーム、セットプレー中心のオフェンス等で策を講じながら福岡第一に食らい着く。一方、福岡第一は⑧河野・⑫蔡の二人が、リバウンドやバスケットカウント等で存在感を發揮し、長崎西との点差を7点に広げ、第2Q終了。

第3Q、後半の立ち上がりには長崎西は、⑥後山・⑯宮川の活躍で点差を縮めたが、残り6分にそれまで福岡第一のC陣を一人で抑えてきた長崎西⑧池田がファイブファールで退場すると、福岡第一⑧河野・⑫蔡の高さを活かしたオフェンスに対応できず、福岡第一との点差は14点差と広がり、第3Q終了。

第4Q、長崎西は④森山・⑦口石の mismatch を利用して攻めようとするも福岡第一のインサイドプレイヤーを意識するあまりシュートが決まらない。福岡第一は⑫蔡がオフェンスリバウンドからのバスケットカウントや④武藤の2連続3Pシュート等で長崎西を突き放し、59-83で福岡第一が勝利を収めた。

担当者(村山 康德)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第6試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	20	—	17	得点	チーム名
	川内	67	18	—	21	72	東海大星翔
			7	—	19		
			22	—	15		

チーム名						
川内						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	福山 雄大	6	0	3	0	2
5	上迫田 智紀	6	0	3	0	1
6	後藤 一輝	0	0	0	0	0
7	村添 脩保	0	0	0	0	0
8	稲次 裕斗	0	0	0	0	0
9	坂元 達哉	19	1	5	6	1
10	山田 優太	16	5	0	1	1
11	藤野 隆斗	20	0	7	6	2
12	西園 諒	0	0	0	0	0
13	平田 祐希	0	0	0	0	0
14	黒木 慎吾	0	0	0	0	0
15	石原 睦大	0	0	0	0	0
16	杉本 皓太	0	0	0	0	0
17	山下 和樹	0	0	0	0	0
18	慶児 洸太郎	0	0	0	0	0
合計		67	6	18	13	7

チーム名						
東海大星翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中嶋 大地	2	0	1	0	0
5	那須 輝	0	0	0	0	0
6	中村 敬	11	1	4	0	3
7	趙 漢辰	27	0	13	1	3
8	元 炫竣	10	0	5	0	2
9	梅村 和生	9	3	0	0	2
10	前田 悠介	10	0	5	0	4
11	藤井 虎南	3	1	0	0	1
12	工藤 康祐	0	0	0	0	0
13	江川 光	0	0	0	0	0
14	中村 魁斗	0	0	0	0	0
15	林 泰成	0	0	0	0	0
16	下田 一青	0	0	0	0	0
17	高田 賢人	0	0	0	0	0
18	松田 悠	0	0	0	0	0
合計		72	5	28	1	15

☆戦評

第1Q、東海大星翔オフェンスで試合開始。川内は3-2ゾーンで迎え撃つ。川内は堅い守りから⑤上迫田と⑪藤野のミドルシュートで連続得点。東海大星翔はタイムアウト後に⑦趙が攻守のリバウンドに絡み、川内に徐々に詰め寄る。しかし川内も⑨坂元や⑪藤野が粘りを見せ、一進一退の攻防が続き、20-17の川内リードで終了。

第2Qは、序盤から東海大星翔⑪藤井のリバウンドを見た⑦趙が走ってパスを受け、レイアップを沈め1点差とすると、今度は川内⑩山田が3Pで逆転、続いて東海大星翔④中嶋が決めれば再び川内⑩山田が3Pで返すというようなシーソーゲームが続いた。終盤、川内は⑨坂元と⑩山田の3Pなどで引き離そうとするが、東海大星翔⑧元の3連続得点で3点差とし、最後は⑥中村が3Pを決め、同点で前半を終えた。

第3Q、東海大星翔はマンツーマンから2-3ゾーンへ変更、川内も1-2-2のプレスを仕掛ける。川内は⑨坂元がファウルをもらいフリースローを1本決めるが、直後に東海大星翔⑩前田がミドルシュート、続けて⑥中村のレイアップ、⑦趙のバスケットカウントで一気に川内を引き離す。その後も川内は東海大星翔の守りに苦しみ、このQわずか7点しか挙げられなかった。

第4Q、川内スローインから再開し⑪藤野がドライブで得点して流れを作ると、続く⑨坂元も1on1から得点を挙げ、さらに⑩山田が2連続3Pで4点差に詰め寄る。その後、タイムアウトを取った東海大星翔は⑥中村と⑦趙の得点で突き放すが、川内も⑪藤野が意地を見せ残り3分で1点差まで追いつける。最後は東海大星翔は⑨梅村や⑧元らで7点差とし、川内もダブルチームでボールを奪いに行くが、パス回しに追いつかず試合終了。東海大星翔は沖縄県と鹿児島県の1位を下しベスト4入りを果たした。

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第2試合 (準決勝)						
日時	平成27年2月15日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	18	—	15	得点	チーム名
	福岡大大濠	57	6	—	20	67	小祿
		16	—	12			
		17	—	20			

チーム名						
福岡大大濠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 凱文					
5	仙波 颯人					
6	中村 太地	14	1	5	1	3
7	桐山 慶太					1
8	青木 亮	19		7	5	
9	増田 啓介					
10	山内 康平	7	1	2		1
11	鍵富 太雅	1			1	
12	立野 友也	3			3	1
13	渡嘉敷 直輝	8		4		
14	児玉 修	5	1	1		4
15	堀川 裕作					
16	山本 晃輝					
17	小山 拓希					
18	後藤 裕太郎					
合計		57	3	19	10	10

チーム名						
小祿						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	金城 雄太					
5	森田 幸之助	8	2	1		1
6	大城 直也					
7	玉城 修平					
8	儀間 真	2			2	1
9	古堅 勝利					
10	比嘉 太					
11	名嘉真 尚人					
12	上良 潤起	24		11	2	4
13	大城 勝悟	11	3	1		1
14	松田 悠太郎	4		2		4
15	池田 祐一	18	2	6		4
16	浦添 建伍					
17	金城 光季					
18	川畑 光平					
合計		67	7	21	4	15

☆戦評

準決勝福岡大大濠高校対小祿高校の対戦。1Q両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。福岡大大濠は高さを活かしてインサイドで得点を重ねる。小祿はパスを多く回しノーマークをつくりジャンプシュートで応戦し、18-15で福岡大大濠がリードし終了。2Q小祿は3-2ゾーンディフェンスに変え福岡大大濠はなかなかシュートが決まらず26-20となったところで福大大濠タイムアウト。小祿⑮池田のジャンプシュート、ゴール下での頑張りで2Qだけで16点を挙げる活躍により35-24小祿リードで終了。3Q福岡大大濠3-2ゾーンディフェンスにし小祿のシュートが落ちだし、小祿⑫上良がファールトラブルでベンチに下がると流れは福岡大大濠に。福岡大大濠⑧青木がゴール下を頑張り47-38で小祿リードで終了。4Q小祿⑫上良をコートに戻すとゴール下で連続得点で11点差になり福岡大大濠たまたまタイムアウト。福岡大大濠タイムアウトを活かせず無得点が続く。小祿⑮池田のスティールで16点差になり福岡大大濠タイムアウト。タイムアウト後すぐに福岡大大濠⑩比嘉がジャンプシュートを決めそこから13-6の粘りをみせ残り3分41秒小祿タイムアウト。勢いに乗る福岡大大濠は⑧青木がゴール下で頑張るがなかなか決めきれず、逆に小祿⑫上良がゴール下を確実に決め福岡大大濠の追撃をかわし67-57で小祿が勝利。白熱した試合内容で会場から両校に対して大きな拍手が送られた。

担当者(吉本 篤史)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第2試合 (準決勝)						
日時	平成27年2月15日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	28	—	13	得点	チーム名
	福岡第一	102	28	—	11	53	東海大星翔
			28	—	14		
			18	—	15		

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	武藤 海斗	12	4	0	0	1
5	竹内 大冴	2	0	0	2	1
6	草野 亜怜	4	0	1	2	1
7	張 効広	15	0	6	3	2
8	河野 佑太	5	0	2	1	3
9	野中 貴仁	5	0	2	1	0
10	土居 光	7	1	2	0	2
11	山邊 千春	5	1	1	0	1
12	蔡 錦鈺	23	0	11	1	1
13	重富 友希	10	0	4	2	1
14	重富 周希	5	1	1	0	3
15	長崎 拓海	2	0	1	0	0
16	長野 雄大	5	1	1	0	1
17	三角 敬祐	2	0	1	0	1
18	山口 昌也	0	0	0	0	0
合計		102	8	33	12	18

チーム名						
東海大星翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中嶋 大地	6	0	3	0	3
5	那須 輝	0	0	0	0	0
6	中村 敬	8	1	2	1	2
7	趙 漢辰	10	0	5	0	3
8	元 炫竣	8	0	4	0	4
9	梅村 和生	0	0	0	0	0
10	前田 悠介	9	0	4	1	1
11	藤井 虎南	3	0	0	3	4
12	工藤 康祐	6	2	0	0	1
13	江川 光	0	0	0	0	0
14	中村 魁斗	3	0	0	3	0
15	林 泰成	0	0	0	0	0
16	下田 一青	0	0	0	0	0
17	高田 賢人	0	0	0	0	0
18	松田 悠	0	0	0	0	0
合計		53	3	18	8	18

☆戦評

第1Q、ディフェンスは共にマンツーマン。開始早々、福岡第一⑧河野が高さを活かしたインサイドプレーで先制点を決める。すぐさま東海大星翔も⑦趙のミドルシュートで返すが、すぐに福岡第一⑦張がポストプレーで追加点。その後も福岡第一は⑦趙と⑧河野を起点に攻撃を仕掛ける。東海大星翔は中に入れさせまいとタイトなディフェンスを見せるが、対する福岡第一は外から④武藤が効果的な3Pを決める。残り1分半で福岡第一は⑦趙を下げ⑫蔡を投入。⑫蔡はすぐにポストプレーで得点を重ね、リバウンドでも活躍。終了間際も追加点を挙げ、28-13で福岡第一がリードし終了。第2Q、東海大星翔は⑥中村、⑧元、⑩前田がドライブインやミドルシュートで得点を挙げるが、福岡第一の勢いは止まらない。好調の⑫蔡はインサイドを完全に支配し、得点を量産する。外にいる⑬と⑭の重富兄弟も⑫蔡に合わせ3Pを決める。終盤も⑫蔡の1人舞台で、56-24で前半を終えた。第3Q、東海大星翔スローインで始まるが、すぐに福岡第一④武藤がスティール、⑬重富にパスしてレイアップを決められる。福岡第一はオールコートプレスを仕掛け、前線でボールを奪い、④武藤得意の3Pなどで着実に加点する。残り5分、福岡第一は⑩土居を残してメンバーチェンジ、それぞれが仕事をし活躍する。東海大星翔は残り2分半でチームファウルが5つになり、その後もファウルがかさんでフリースローを与え失点が続く、84-38で終了。第4Q、福岡第一はさらにベンチメンバーを投入。高さが無くなった福岡第一を攻略したい東海大星翔だったが、⑦趙がダブルチームに苦しみ思うようなプレーができない。福岡第一は⑯長野を始め、ほぼ全員が得点を挙げ、102-53の大差で福岡第一が決勝にコマを進めた。

担当者(伊藤 晋秀)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Bコート 第4試合 (シード決定戦)						
日時	平成27年2月15日						
会場	益城町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	19	—	18	得点	チーム名
	福岡大大濠	67	8	—	6	62	東海星翔
			20	—	19		
			20	—	19		

チーム名						
福岡大大濠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	岩本 凱文	0	0	0	0	0
5	仙波 颯人	0	0	0	0	0
6	中村 太地	17	1	6	2	2
7	桐山 慶太	6	0	2	2	2
8	青木 亮	16	0	6	4	4
9	増田 啓介	0	0	0	0	0
10	山内 康平	0	0	0	0	0
11	鍵富 太雅	0	0	0	0	0
12	立野 友也	6	0	3	0	0
13	渡嘉敷 直輝	4	0	2	0	2
14	児玉 修	9	1	3	0	3
15	堀川 裕作	7	0	2	3	1
16	山本 晃輝	2	0	1	0	0
17	小山 拓希	0	0	0	0	0
18	後藤 裕太郎	0	0	0	0	0
合計		67	2	25	11	14

チーム名						
東海星翔						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中嶋 大地	3	0	1	1	1
5	那須 輝	0	0	0	0	0
6	中村 敬	2	0	1	0	0
7	趙 漢辰	28	2	10	2	4
8	元 炫竣	2	0	1	0	1
9	梅村 和生	0	0	0	0	0
10	前田 悠介	15	0	6	3	4
11	藤井 虎南	6	2	0	0	2
12	工藤 康祐	6	2	0	0	0
13	江川 光	0	0	0	0	0
14	中村 魁斗	0	0	0	0	0
15	林 泰成	0	0	0	0	0
16	下田 一青	0	0	0	0	0
17	高田 賢人	0	0	0	0	0
18	松田 悠	0	0	0	0	0
合計		62	6	19	6	12

☆戦評

第1Q、共にディフェンスはマンツーマンでスタート。福岡大大濠は⑦桐山のポストプレーや⑭児玉の速攻、⑧青木のミドルシュートなどで点を積み上げる。対する東海大星翔も⑩前田のドライブインや⑦趙のゴール下などで応戦し、わずか1点差でこのQを終える。第2Q、お互いの動きが序盤から悪い。福岡大大濠は中と外がうまく噛み合わず、東海大星翔は福岡大大濠のタイトなディフェンスを攻めきれず、しばらくほぼこう着状態が続いた。ようやく点が動いたのは残り5分40秒、福岡大大濠⑧青木のターンからのシュートを機に点の取り合いになる。直後に東海大星翔⑦趙がミドルシュートで得点、続けて⑧元が④中嶋のドライブに合わせ外から得点。福岡大大濠も⑧青木がインサイドでファウルをもらい、フリースローを2本成功するなど、福岡大大濠3点リードで前半を折り返した。第3Q、東海大星翔は2-3ゾーンに変更。福岡大大濠はスローインから⑥中村のドライブインで後半初得点。ここからまた点の取り合いとなる。東海大星翔は⑦趙の3Pやミドルシュート、⑩のドライブインや⑥中村のレイアップで追いつきようとする、福岡大大濠も⑧青木や⑥中村のゴール下で引き離し、最後は途中出場の⑯山本が得点し、福岡大大濠4点リードで最終Qに入る。第4Q、開始直後に東海大星翔⑫工藤が3Pを決め1点差とする、福岡大大濠も⑮堀川がゴール下で得点し離す。しかし東海大星翔⑩前田が速攻を決めついに逆転。ここからはまたもや点の取り合いとなる。逆転に次ぐ逆転が続いたが、福岡大大濠⑥中村の3Pで5点差となったのが決定打となった。最後は東海大星翔が⑫工藤の3Pに託したが、外れたボールを福岡大大濠⑧青木に取られ、パスを回され試合終了。

担当者(伊藤 晋秀)

平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

☆試合結果及び個人トータル表

男子	Aコート 第4試合 (決勝)					
日時	平成27年2月15日					
会場	益城町総合体育館					
対戦結果	チーム名	得点	(21 — 18)	得点	チーム名	
	小祿	88	(29 — 28)	111	福岡第一	
			(17 — 33)			
			(21 — 32)			

チーム名						
小祿						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	金城 雄太	3	1			1
5	森田 幸之助	19	5	2		4
6	大城 直也					
7	玉城 修平					
8	儀間 真	9	1	3		3
9	古堅 勝利					
10	比嘉 太					
11	名嘉真 尚人					
12	上良 潤起	15	1	5	2	4
13	大城 勝悟	12	2	3		1
14	松田 悠太郎	12		6		5
15	池田 祐一	18	1	6	3	5
16	浦添 建伍					
17	金城 光季					
18	川畑 光平					
合計		88	11	25	5	23

チーム名						
福岡第一						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	武藤 海斗	13	3	1	2	1
5	竹内 大冴					
6	草野 亜怜					
7	張 効広	27		12	3	1
8	河野 佑太	16		6	4	
9	野中 貴仁					
10	土居 光	2		1		
11	山邊 千春					
12	蔡 錦鈺	8		3	2	1
13	重富 友希	18		7	4	1
14	重富 周希	27	1	10	4	1
15	長崎 拓海					
16	長野 雄大					
17	三角 敬祐					
18	山口 昌也					
合計		111	4	40	19	5

☆戦評

Aパート決勝。小祿高校対福岡第一高校の対戦。両チーム共にハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。福岡第一⑦張が開始早々連続得点し6-2とするが、小祿⑧儀間、⑫上良が得点しすぐさま同点とする。小祿のオフェンスが機能し21-18と小祿リードして終了。2Q、福岡第一2mの⑫蔡をコートに入るが、小祿ディフェンスが早めの対応をしゴール下に入れさせず、シュートの打ち合いになり50-46で小祿が4点リードし終了。3Q、福岡第一⑦張、⑧河野がゴール下で頑張り残り7分29秒で逆転し小祿タイムアウト。タイムアウト後小祿⑭松田がゴール下から決め再逆転するが、小祿⑭上良がファールトラブルになりベンチへ下がると福岡第一⑦張がオフェンスリバウンドに飛び込んだがファール。しかし、そこからチームの流れができ福岡第一⑬重富がスティールからバスケットカウント。フリースローも決め69-60とリードをひろげ、79-67で福岡第一12点リードで終了。4Q、小祿⑮池田がスティールしバスケットカウントになるが、フリースローが入らない。福岡第一は連続得点し、83-69と14点差になり小祿たまらずタイムアウト。一本決めたい小祿だったが、ターンオーバーから小祿⑮池田がファールアウト。福岡第一ここぞとばかりに激しいディフェンスでターンオーバーから得点につなげ、111-88と福岡第一が勝利。最後まであきらめず高さに応戦した小祿に拍手を送りたい。

担当者(吉本 篤史)